

2015年
秋 号
Vol. 14

幸義会だより

岡山東部脳神経外科

『系』

医師 佐藤 昂平



脳神経外科専門医試験を来年に控え、時間を見つけて、遅ればせながら教科書を開き、勉強しようと思つて四苦八苦している今日この頃ですが、なかなか思うようには進まず同じページばかり開いております。今回はその最中にも思ったことについて、少し書かせていただきます。

神経解剖や局在診断についても、ありとあらゆる項目が登場してきますが、その中でもsystemとして、運動系・知覚系・錐体路系・辺縁系・自律神経系など『系』という単語が頻出してきます。ふと思えば、テレビ・居酒屋など通常の会話でもよく耳にすることがある『系』という言葉。

「かわいい系」「ぼつちやり系」「癒し系」「体育会系」「草食系」「肉食系」など色々あります。高校時代にも進路、進路を決定する際に「理系」「文系」と使われていました。「んー、そろそろ帰る系かなー」など曖昧な意味を付加する時も、最近では使う時があるようです。あまりに柔軟に登場するこの『系』という言葉について調べてみました。

大辞林によると『系』そのものの定義は「ある関係のもとにつながった統一体。体系」と定義されて

ています。たとえば職場全体での飲み会など、まさに一つの体系ですね。

ほかにも数学・論理学での『系(corollary)』は「一つの定理から派生的に導かれる命題」のことを指すようです。つまり「深酒する」と「二日酔いになる」も系の一つと言えるような感じですが、ただ、数学・論理学では利用価値の高いものにして『系』と言わないようですが…。

自然科学での『系(system)』は「宇宙または世界の一部のうち、考察の対象として注目している部分」の事です。生態系、太陽系、銀河系などがこれに当たります。この場合、観測者は系とは離れた外界に存在するとしてあります。飲み会をなんとなく外からのんびり眺めている人は「観測者」、飲み会自体が「系」にあたりますね。

生物学での『系(system)』は「ある特定の機能に関する器官の総称」の意味のようです。医学生時代の系統講義などの『系』は、この意味だったようです。神経系・呼吸器系・循環器系などですね。

細かい使い分けは今まで考えたこともありませんでしたが、おおよその意味は「一つのまとまりのある関係にあること」の派生のようです。要は、壮大すぎるスケールをのものを観測しやすいように、ある関係にあるもの同士で分けたもの、という言葉ですね。そして、同時に、ある関係にあるもの同士に一括りにすること、という意味も含めてあります。統合と分析という、相反する両方の意味を備えているような感じですね。柔軟に登場するわけですね。適応力の高い言葉ですね。

ヒトを機能に関する器官で分けた『系』の様々な科の中でも、先に述べたように脳神経の分野だけではこれほどたくさんの『系』が登場します。脳神経の世界があまりに壮大すぎるスケールだという事を、教科書の目次だけで推察できてしまうという事実。どうりで試験範囲が広いはずなんです。目次の時点で落胆の色を隠せません。が、その深遠で美しすぎる世界に敬意を払いながら、この地域の医療『系』に今以上に貢献するために、さらっと専門医試験をpassできるように、そろそろ勉強に戻りたいと思います。

退職挨拶

医師 高井 洋樹



私事ですが平成26年10月1日から当院で働いて早1年がたちましたが、この9月30日をもって退職することとなりました。

1年間と短い期間でしたが、非常に楽しく働かせていただき、また当院には私のためにご指導ご鞭撻を頂いたことを大変感謝しております。

今後はこの10月より再度川崎医大で働く予定となっております、当院の貴重な経験は、今後の糧となると考えております。

末筆ではございますが、改めて皆様の長年のご厚情に感謝すると共に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

岡山東部脳神経外科親睦会

桜の季節に不安もかかえて入職した皆さんが、それぞれの部署にも慣れた頃の七月に新入職員の歓迎会を兼ねた親睦会を行いました。今年は六名の新入職員を迎え、職員百十二名となり各々が職務を全うして毎日を勤めています。

当院は、岡山クリニックと東備クリニックとが少し離れています。そのため日頃は忙しく日々のクリニックでの仕事が始まるので、この日は岡山東部脳神経外科として一箇所に集まって、楽しく食事をしながら中々話す機会の無い職員同士の会話も弾みました。途中の有志の踊りは、いつ練習をしたのかと思う程息がぴったり！その後のビンゴゲームでも盛り上がりました。中でも一番の盛り上がりは、理事長の誕生日の御祝いサプライズです。大きなケーキは皆で分け合って頂きました。アツという間の三時間でしたが、皆各々有意義に過ごせ翌日からの仕事のエネルギーになったと思います。



今回は診療放射線技師について

紹介させていただきます。

診療放射線技師とは医師・歯科医師の指示のもとで診断・治療のために放射線を取り扱う資格をもった人達の事です。

仕事としては、放射線を使用した【X線撮影】【CT】【血管造影検査】【骨密度検査】、磁気を利用する【MR】など、さまざまな画像診断装置で人体の内部を撮影、医師に情報を提供し診断や治療に役立てて頂いています。

当院の放射線技師は岡山・東備クリニック併せて6名で頑張っています。

患者様に接するのは検査の前後のほんの少しの時間ですが、少しでも検査に対する不安や疑問を取り除き、患者様の負担が出来るだけ減るように短時間で、そして沢山の情報を先生方に提供できるように頑張っています。



研修医紹介

医師 神原麻友子



地域医療研修の為九月よりお世話になっております。初期研修医の神原麻友子と申します。普段は神奈川県横浜市のけいゆう病院にて昨年四月より初期研修をさせて頂いております。

私は神奈川県南で生まれ育ち、小中高も湖南の学校に通いました。小さいころから習っていたバレエが大好きで、一時はバレリーナへの道も考えましたが、高校二年生の時に母がけいゆう病院に入院したことがきっかけで医師を志し、平成二十年に北里大学に入学しました。思い出のあるけいゆう病院で現在研修させて頂いている事には運命を感じます。

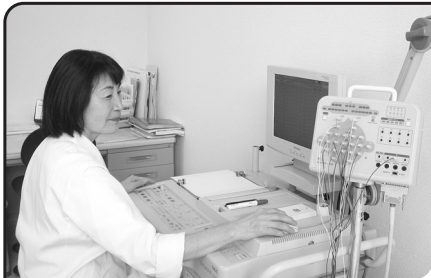
岡山に来て二週間が過ぎようとしています、豊かな自然に囲まれる町並みにはどこか故郷を思わせる趣があり、早くも岡山の魅力を感じています。また、初日から先生方やスタッフの方々には大変温かく迎えて頂き、感謝の気持ちで一杯です。脳神経外科は、現在高齢化社会の中で増えている脳卒中や生活習慣病を診療することができ、かつ腫瘍も診られる点から以前より興味がありましたが、今回の研修を通して普段は見ることのできない多くの症例を学ぶ機会を頂き、大変勉強になると共に改めて脳外科の魅力を感じております。研修も後半にさしかかりましたが、今後は釣りなどの野外のアクティビティにも参加させて頂く予定です。しばらくの間ご迷惑おかけしますが、今後共ご指導よろしくお願い申し上げます。

薬局より

インフルエンザが流行する季節になります。今年度よりインフルエンザH Aワクチンが変更されます。昨年度まではA型株2種類とB型株1種類の合計3種類のウィルスを混合したワクチンでしたが今年度からはA型株2種類とB型株2種類の合計4種類の混合ワクチンになります。ワクチンの製造株については毎年国立感染症研究所でWHOの推奨株やわが国の流行状況や国民の抗体保有状況などを参考に予測を行います。これに基づき厚生労働省が次シーズンのワクチン製造株が決定公表されています。ここ数シーズンはB型の山形型とビクトリア型の2系統のウィルスが混合流行していましたが予測が困難でまた製剤基準の改正もあり4価のワクチンが導入されました。

秋号のいちおし！

今回は、臨床検査技師の岡本三枝子さんにインタビューをしました。



- Q 1. なぜ臨床検査技師になろうとおもったのですか？
A. 高校生の時、担任の先生にこのような職業があることを紹介され、推薦入試をすすめられたので選びました。
- Q 2. あなたの趣味はなんですか？
A. 以前、埼玉や千葉にいた時は茶道や華道、陶芸をしていました。岡山では、押し花やポーセラーツを楽しんでいます。ポーセラーツとは…真っ白な磁器に転写シートや専用の絵の具を使って絵付けをし、焼いて楽しむものです。
- Q 3. あなたのストレス発散方法はなんですか？
A. 犬の相手をしたり、畑仕事をしたりします。また、趣味に没頭したりします。
- Q 4. 患者様を検査するうえで、心掛けていることはありますか？
- Q 5. 臨床検査技師をしてきた中で、特に印象に残っている出来事がありますか？
A. 脳波の検査中に、患者様から現在おかれている境遇をせつせつとお話いただいた事がありました。その時、私の思いなどおりまぜながら会話をしてくうちに、「元気が出たわ！ありがとう」とおっしゃっていただけた事です。



押し花



さし絵



ポーセラーツ

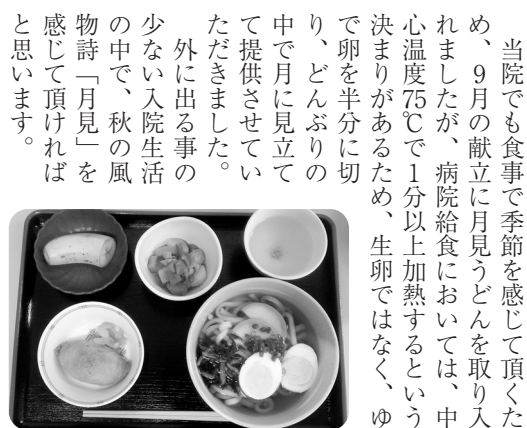


陶芸

9月の献立

「月見うどん」

月見うどん、月見そば、月見だんご、月見バーガーなど、「月見」と名前が付く料理はいくつかあります。その中でも月見うどんは、出汁を入れた麺の上に生卵を割ったうどんのことで、卵の卵白（白身）を雲、卵黄（黄身）を月に見立てたことから、秋の風物詩である「月見」と呼ばれるそうです。海苔（またはとろろ昆布）をススキに見立てて入れるのが正式という説もありますが、明確な定義は無く、現在は、卵を月（満月）に見立てていれば「月見」の名前を付ける傾向にあるようです。



当院でも食事で季節を感じて頂くため、9月の献立に月見うどんを取り入れましたが、病院給食においては、中心温度75℃で1分以上加熱するという決まりがあるため、生卵ではなく、ゆで卵を半分に切り、どんぶりの中で月に見立てて提供させていただきます。外に出る事の少ない入院生活の中で、秋の風物詩「月見」を感じて頂ければと思います。

新入職員挨拶

医療事務 吉川 千幸



初めまして、7月から東備クリニックで勤務させて頂いている吉川千幸と申します。

社会人一年目で分からないことばかりですが、優しい先輩方に囲まれ、迷惑をかけながらも頑張っています。やりたかった医療事務の仕事なので、一日でも早く先輩方のように一人前になりたいです。至らない点ばかりですが今後とも御指導を宜しく御願いたします。

医療事務 友次沙也加



8月から医療事務として働かせていただいています友次沙也加と申します。丁寧で細やかな対応を心掛け、どんな事に対しても笑顔で前向きに取り組んでいきます。毎日の仕事の中で一つでも多くの事を学び、自分の知識にしていきたいと思っています。不慣れな部分もあり、御迷惑をお掛けすることもあると思いますが、精一杯努力していきますので宜しく御願いたします。

育休明けの挨拶

病棟看護師 西井 寿栄



昨年6月に第5子となる次女を出産しました。その後約1年近い育児休暇を頂き、今年5月末より職場復帰しております。平成15年10月の当院開院の際に、就職のご縁があり、以降今回で3度目の妊娠、出産を経験しました。上は中学3年生から下は1歳児までの5人の育児と共に、現職を続けられていることは、家族の支え、そしてなによりも職場の理解とあたたかい支えがあつてこそで、両者には、心より感謝しております！

理学療法士 秋房麻由美



昨年7月に第1子を出産し、今年7月から復帰いたしました。1歳2ヶ月になった娘は、自我も芽生え、ひとり歩きまでもう少し！院内託児所でお世話になっており、日々色んなことを覚えていきます。妊娠中から仕事との両立に不安がありましたが、産休・育休をいただいたき育兒に専念出来たこと、周囲の方々にサポートいただいたことに本当に感謝しております。まだ子供も小さく、御迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、精一杯頑張りますので宜しく御願いたします。

栄養士 荒島 慶子



岡山クリニックの栄養士の荒島と申します。平成26年8月に無事女の子を出産し、7月末から復職致しました。復帰して2ヶ月になりますが、子供は日ごとに活発に動き回ることが増えてきました。急な発熱や風邪でスタッフの皆様やお保育士の先生方に、いろいろ御迷惑をお掛けしておりますが、子育ての先輩である皆様に知恵を借りながら、仕事と育児に精進していききたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。